

各位

会社名 BBDイニシアティブ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 グループ CEO 稲葉雄一
 (コード番号 5259 東証グロース)
 問合せ先 取締役 グループ CFO 佐藤幸恵
 (TEL 03-5405-8120)

通期連結業績予想と実績との差異及び剰余金の配当（初配）に関するお知らせ

2023年11月14日に公表いたしました2024年9月期（2023年10月1日～2024年9月30日）の業績予想と本日公表の決算値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、2024年9月30日を基準日とする剰余金の配当（初配）について決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。なお、本件は2024年12月24日開催予定の当社第2回定時株主総会に付議する予定です。

記

1. 通期連結業績予想と実績の差異について

(1) 2024年9月期連結業績予想（IFRS）と実績値との差異（2023年10月1日～2024年9月30日）

	売上収益	営業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
前回発表予想 (A)	百万円 4,000	百万円 401	百万円 285	円 銭 54.79
実績値 (B)	4,127	285	164	31.22
増減額 (B-A)	127	△116	△121	△23.57
増減率 (%)	3.2	△28.8	△42.4	△43.01
(参考) 前期実績 (2023年9月期)	3,570	22	29	5.75

(2) 差異の理由について

2024年9月期は、中堅・中小企業のDXを支援する4つのクロステック「セールステック」、「マーケティング」、「ディープテック」、「タレントテック」へ経営資源を絞り、事業ポートフォリオの再構築として実施したM&A及び新規事業の立上げ効果が上積みされ、売上高は前回予想を上回りました。

一方で、利益面は、グループ組織再編の一環として、成長性又は収益性が低い不採算事業・サービスからの撤退等、事業の選択と集中に伴う関連経費の増加、及びM&A及び新規事業の立ち上げに伴う売上と連動する原価の増加に伴い、営業利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益とも前回予想よりも下回りました。

2. 剰余金の配当（初配）

（1） 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2023年11月14日)	前期実績 (2023年9月期)
基準日	2024年9月30日	同左	2023年9月30日
1株あたりの配当金	7円00銭	10円96銭	0円00銭
配当金総額	36,931千円	—	—
効力発生日	2024年12月25日	—	—
配当原資	その他資本剰余金	—	—

（注）純資産減少割合：2.9%

（2） 理由

当社は、設立より財務体質及び競争力の強化を経営の重要課題として位置付けており、内部留保の充実を図り、事業により生み出されたキャッシュ・フローを事業拡大のための投資に優先して振り向けることが企業価値の向上を通じて株主に対する最大の利益還元につながるものと考え、設立以来、配当を実施していませんでしたが、株主への配当による利益還元も重要課題であると認識し、経営成績及び事業計画等を総合的に勘案しながら、配当性向20%目安とした株主への利益還元を開始する方針としております。

上記の基本方針に基づき、当期2024年9月期の業績、財務基盤及び今後の動向を勘案した結果、株主の皆様への利益還元を開始すべき水準であると判断し、変動配当となりますが当初より計画していました配当性向20%を維持し、1株あたり7円00銭の配当実施を第2回定時株主総会に付議する予定です。

なお、2025年9月期の中間及び期末配当予想につきましては未定とさせていただきますが、本日公表の「株主優待制度導入に関するお知らせ」のとおり、当社株式への投資魅力を高め、より多くの株主の皆様により長く当社株式を保有して頂き、当社の企業価値向上に向けた事業の成長を共有することを目的として株主優待制度を導入し、個人株主様に対する利益還元をより強化してまいります。

以 上